

Made for *life*

Muse™ iQ

Muse™



はじめに

この度はスターキー耳あな型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際には再読下さい。

フィッティングサービスの重要性

補聴器はマイクから入力された音を増幅させて出力し、聴力を補う医療機器です。

補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

補聴器は装用者に合わせて調整されています。装用者以外の方のご使用はご遠慮ください。

目次

1. 安全にお使いいただくために	4
2. 各部の名称	6
シリアルナンバーなどの記載事項	
3. 電源の入／切	7
4. 電池の交換	8
電池シールについて	
電池交換のお知らせ音	
5. 補聴器を装用するには	9
6. 音量／メモリーを調整するには	10
●ダイヤル式の場合	
●プッシュボタン式の場合	
7. T2リモート(リモコン機能)を利用するには	13
8. 電話をかける時は	14
9. お手入れをするには	15
10. ホワイトワックスガード(耳垢防止)を交換するには	16
11. マイクカバーを交換するには	17
12. お知らせ音について	18
13. おかしいなと思ったら	19
14. 販売店様へ	20
15. 表示項目等	20
医薬品医療機器等法第63条の規定による表示	
保証について	

1. 安全にお使いいただくために

警告／注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。



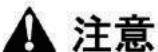
注意

取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

- ◆ 補聴器本体や部品、電池を、幼児や精神的に障害のある方、ペットの手の届かないところに保管・管理してください。
- ◆ 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないでください。
- ◆ 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意してください。もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師にご相談ください。



注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- ◆ 電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。故障の原因になります。
- ◆ 補聴器は再資源化対象ですので、ご不要となった場合はゴミとして捨てず、販売店にお持ちください。
- ◆ 補聴器は常に清潔に保つよう使用後の清掃、保管前の清掃をしてください。

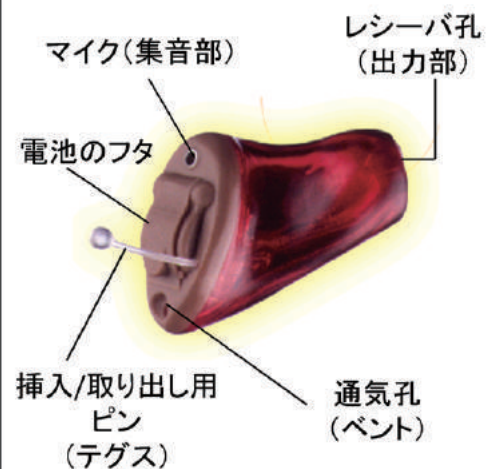


注意

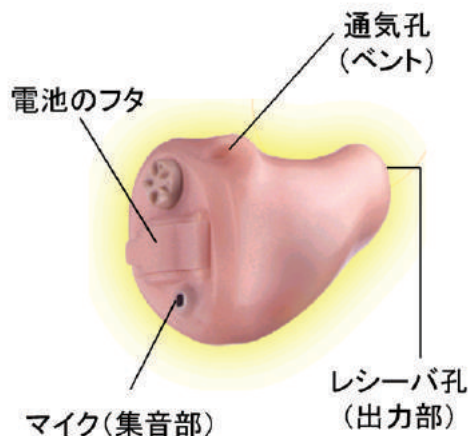
- ◆ 次の場合、補聴器を使用しないでください。
 - ・耳を治療中の場合。
 - ・耳の中に痛みがある場合。
 - ・先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合。
 - ・過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合。
 - ・過去60日以内に急激又は急速な難聴の進行を生じた経験がある場合。
 - ・過去30日以内に耳鳴りが大きくなった場合。
 - ・急性または慢性のめまいがある場合。
 - ・耳垢または異物の集積が明らかな場合
- ◆ 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - ・耳漏が生じたとき。
 - ・耳の治療が必要なとき。
 - ・耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
 - ・耳の皮膚が赤くなったり、痒みや湿疹が生じたとき。
 - ・使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
 - ・補聴器の外観、音質・音量等に異常を感じたとき。
 - ・めまいが生じたとき。
- ◆ 耳の中でホワイトワックスガード等の部品が脱落した場合、販売店又は耳鼻咽喉科の医師にご相談ください。
- ◆ 耳鳴りマスカ機能 (TRT機能) の使用には医師の処方が必要です。ご使用になる場合、耳鼻咽喉科医師の指示に従ってご使用ください。
- ◆ 耳鳴りマスカ機能の使用により、耳鳴りや聞こえが悪化する場合があります。悪化した場合は、直ちに使用を中止し、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。
- ◆ 補聴器内部を針などが刺さったものでつかないでください。
- ◆ 硬い床の上などに落とすと破損する可能性があります。落とすと壊れやすい場所での補聴器の付け外しをしないでください。
- ◆ その他ご不明な点等がございましたら、販売店までご連絡ください。

2. 各部の名称

CIC



ITC



ITE



シリアルナンバーについて

本体表面に記載されたシリアルナンバーは、補聴器を調整する際に大切な目印となります。このシリアルナンバーは、赤字が右耳用、青字が左耳用であることを示します。



3. 電源の入/切

※ 電源の入/切スイッチオプションにつきましては、販売店にご相談下さい。

CIC/デジタルボリュームの場合



電源入

電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切

電池のフタを開けると、電源が切れます。

アナログボリュームの場合



電源入

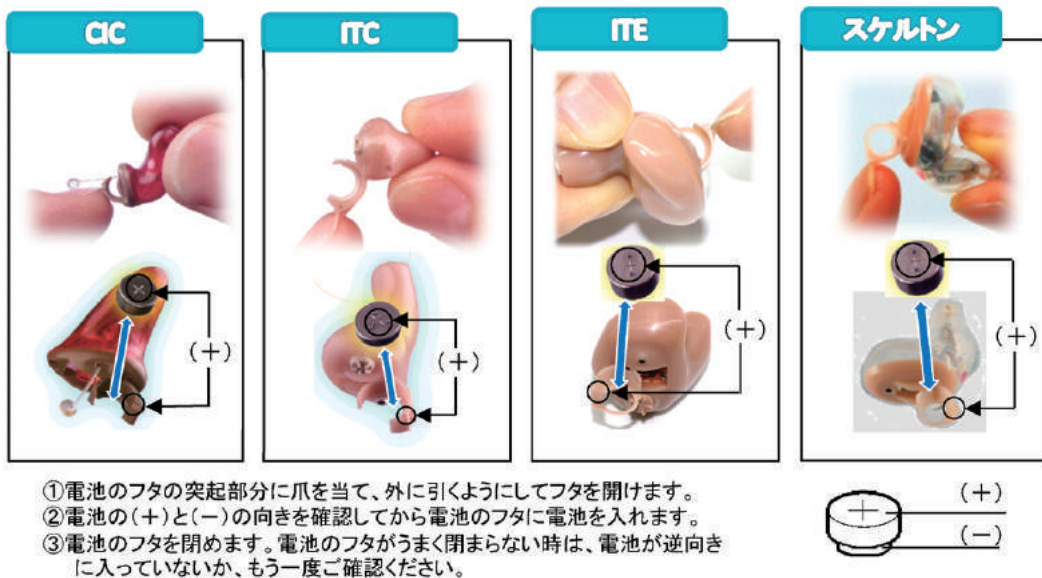
音量つまみを前方(顔のほう)へ回します。

電源切

音量つまみを後方へ最後まで回します。

4. 電池の交換

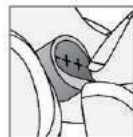
※ 電池のフタの形状は製品により異なります。



補聴器	ご使用の電池 / シールの色
CIC	PR536(10A) / 黄色
ITC / スケルトン	PR41(312) / 茶色
ITE	PR48(13) / オレンジ

<電池シールについて>

電池シールは使う直前にはがしてください。



<電池交換のお知らせ音>

電池電圧が低下すると、電池交換のお知らせ音が鳴ります。お知らせ音が鳴りましたら、できるだけ早く電池を新しいものに取り換えてください。「12. お知らせ音について」(P.18)も併せてご覧ください。

警告

- ◆ 電池は、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 使用済みの電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

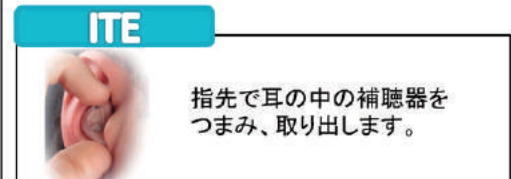
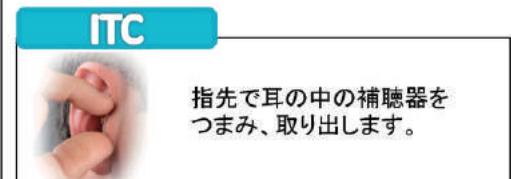
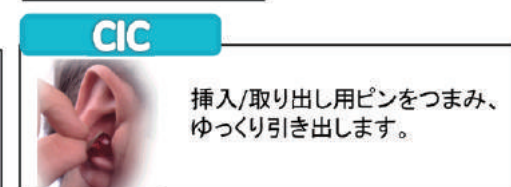
注意

- ◆ 電池を交換する際には、必ず電池フタに正しくのせてから、電池のフタを閉めてください。電池をフタにのせず直接補聴器内に入れると、故障の原因になります。

5. 補聴器を装着するには



取り外すには



6. 音量／メモリーを調整するには

※CICIには、
音量つまみはありません

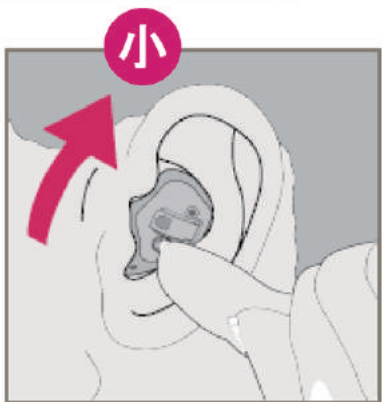
●ダイヤル式の場合

音を大きくするには



音量つまみを前方に回していくと、
音が大きくなります。

音を小さくするには



音量つまみを後方に回していくと、
音が小さくなります。

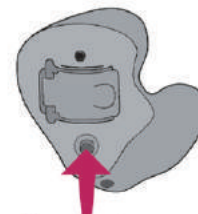
<ハウリングを起こしたときは>

補聴器に手を近づけると、「ピーピー」と音が聞こえることがあります。これは補聴器から出た音が、手のひらで反射したために起こる現象で、ハウリングと呼ばれています。補聴器から手を離せば、音は自然に止まります。

●プッシュボタン式の場合

プッシュボタンを押す長さ(長押し・短押し)によって、音量調整やメモリー変更、ミュートのON/OFFを行います。

※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。



プッシュボタン

<ハウリングを起こしたときは>

補聴器に手を近づけると、「ピーピー」と音が聞こえることがあります。これは補聴器から出た音が、手のひらで反射したために起こる現象で、ハウリングと呼ばれています。

補聴器から手を離せば、音は自然に止まります。

・プッシュボタン設定記入表

	音量調整	メモリー変更	ミュート	TRT機能
短押し				
長押し				

①音量調整(短押し・長押し)

プッシュボタンを押す長さ(長押し・短押し)によって音量の上げ下げを行います。

大きい プッシュボタンを短押しすると音が大きくなり、長押しすると音が小さくなります。

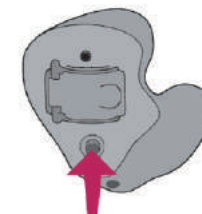
↑

標準

※電源を入れた時は、標準の状態です。

↓

小さい



プッシュボタン

※長押しで音を大きくし、短押しで音を小さくする設定にすることも可能です。

詳しくは販売店にご相談ください。

②音量調整(ボリュームスプリンクラー)

大きい(最大)

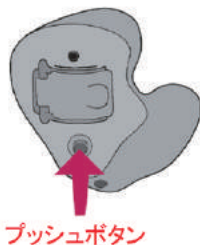
やや大きい

標準

やや小さい

小さい(最小)

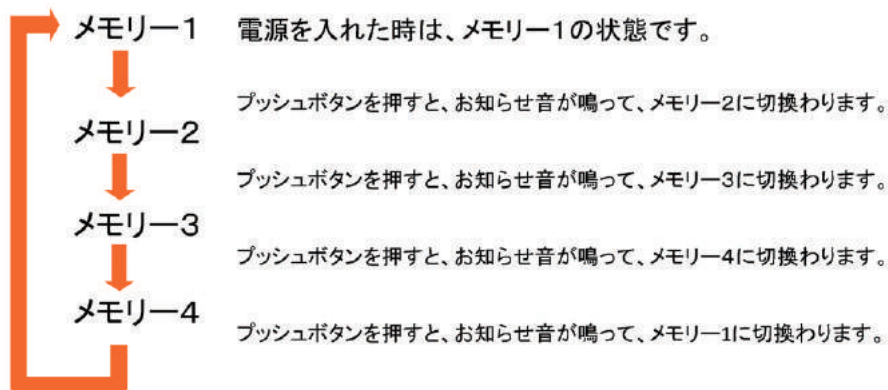
プッシュボタンを押すと音が小さくなり、最小になると大きくなります。



※ 上記とは逆に、プッシュボタンを押すと音が大きくなるような設定にすることも可能です。
詳しくは販売店にご相談ください。

③メモリー切り替え

プッシュボタンを押して、メモリーの設定切換えを行います。



※メモリー2～4は、無効に設定することができます。
無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

④ミュート機能

ミュート機能の搭載されている補聴器の場合、プッシュボタンを長押しすることで、補聴器はミュート状態になります。
ミュートを解除する場合、音声が出るまでプッシュボタンを長押ししてください。

⚠ 注意

- ◆ プッシュボタンを必要以上に強く押すと、破損することがあります。

7. T2リモート(リモコン機能)を利用するには

お持ちの携帯電話あるいはプッシュホン電話をリモコンとしてお使いいただけます。
電話の音によって、「ボリューム調節」「メモリー変更」が行えます。

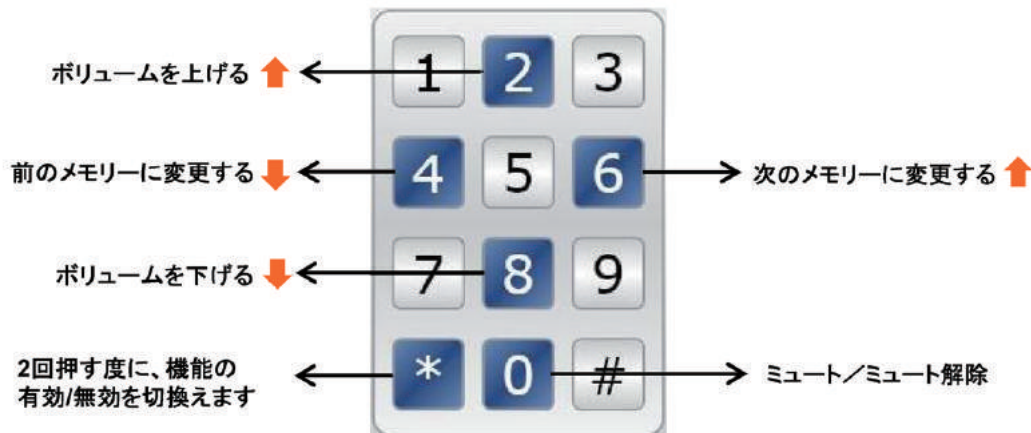
<方法>

- ① 電話を耳に近づけ【*】を2回押します。
リモコン機能が有効になると、お知らせ音が鳴ります。
- ② ボリュームを調節するには【2】【8】を、メモリーを調整するには【4】【6】を押します。ミュートにするには、【0】を押します。
- ③ 調整が終わった後、耳から電話を離します。
調整した設定で補聴器をお使いいただけます。



※補聴器の電源を切ると、元の設定に戻ります。
※リモコン機能を無効にするには、電話を耳から離すか、【*】を2回押します。

調整方法



⚠ 注意

- ◆ お使いの携帯電話の機能によっては、調整出来ない場合があります。
1→2→3または7→5→3の順にボタンを押して音を聞いて下さい。
DTMF音(ピッポッパ)の場合、T2リモートをお使いいただけます。
- ◆ T2リモートをお使いいただくには、ご購入時に販売店で初期設定を行う必要があります。
T2リモートが機能しない場合には、販売店にご相談ください。

8. 電話をかける時は



受話器を耳に近づけると、電話専用の調整に自動的に切り替わります。



受話器を耳から離すと、通常モードに戻ります。

⚠ 注意

◆コードレス電話、または携帯電話には機能しない場合があります。

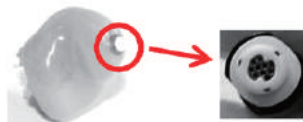
9. お手入れをするには

- 補聴器の表面は、乾いた柔らかい布等で拭いてください。
- レシーバ孔、電池のフタ、ボリュームつまみなど、耳垢やホコリのたまりやすい部分は、専用ブラシもしくは歯ブラシで時々掃除をしてください。
ブラシをかける時はあまり力を入れず、耳垢やほこりが補聴器内部に入らないように、ブラシを上向きにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは、必ず電池を取りはずし、乾燥ケースに入れて、安全な場所に保管してください。
- 補聴器本体は、カビ等が生えないように常に清潔に保ってください。



10. ホワイトワックスガード(耳垢防止)を交換するには

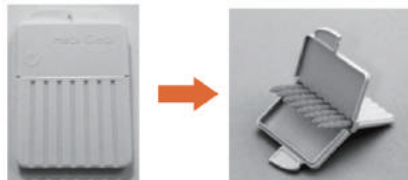
※ホワイトワックスガード(ワックスガード標準品)はお客様による交換が可能です。
下写真と形状が異なるワックスガードの場合は販売店にご相談ください。



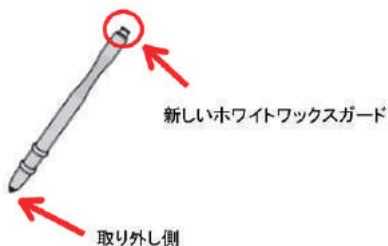
ホワイトワックスガード(耳垢防止)

※先端がメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前に、ホワイトワックスガードを交換してください。

① 交換用キットのがま口部分を開け、棒を1本取り出します



交換用キットには
8本入っています



② 補聴器についているホワイトワックスガードに、棒を軽く押しこみます



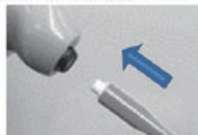
棒の取り外し側(新しいホワイトワックスガードが付いていない方)を補聴器のレシーバ孔(今付いているホワイトワックスガード)に軽く押しこみます。

③ 棒をまっすぐ引き抜きます



今付いている古いホワイトワックスガードと一緒に取れます。

④ 棒の反対側についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます



奥までしっかり差し込んで棒をゆっくり引き抜くと、新しいワックスガードが補聴器に装着されます。

⑤ 完成です



取り外したホワイトワックスガードは、棒と一緒に廃棄してください。

※棒は再利用できませんので、使用後廃棄してください。
※ホワイトワックスガードと棒、交換用キットのケースはプラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

⚠ 注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますのでご注意ください。

11. マイクカバーを交換するには

マイクカバーは、耳垢やほこり等の外傷からマイクを保護します。

マイクカバーは、スモール・ラージの2種類のサイズがあります。

マイクカバーのサイズによって取り付け方法・取り外し方法が異なります。下記の絵をご参照ください。

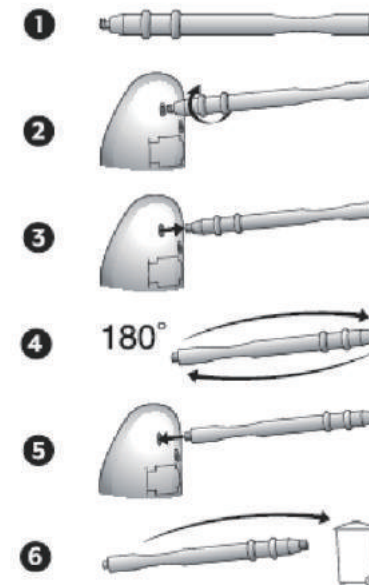
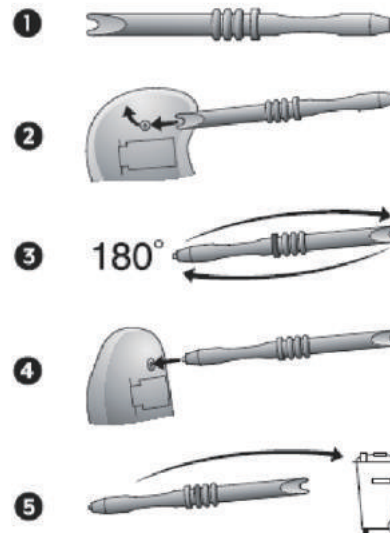
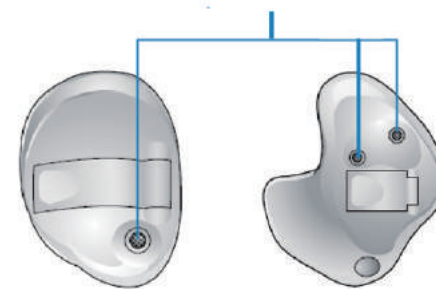
● マイクカバー(スモール)の場合

● マイクカバー(ラージ)の場合

マイクカバー



マイクカバー



⚠ 注意

- ◆ マイクカバーは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますのでご注意ください。

12. お知らせ音について

電池交換時期、メモリー切換えなど、補聴器の状態を音声(日本語 / 外国語、男声 / 女声)、チャイム、または電子音(ビーブ音)でお知らせすることができます。
メモリー変更の音声でのお知らせ音など、詳しい設定については販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語(男声 / 女声)	ビーブ音
電池交換 電池を交換してください	ポンポン、電池(デンチ) (Muse iQ)	ピンポンパンポン (Muse iQ)
	電池(デンチ) (Muse)	ピーポーパーポ (Muse)
パワーオン 電源が入りました	ピンポンパンポン、チャン (チャイム・Muse iQ)	ポーンポーンポーン (Muse iQ)
	ターラリラーン (メロディ音・Muse)	プー (Muse)
メモリー変更 メモリー1(2, 3, 4)に切り換わります	メモリー名(ヒョウジュンなど) 番号(イチなど) (Muse iQ)	ポン(ポンポン、ポンポンポン、 ポンポンポンポン) (Muse iQ)
	イチ(ニ、サン、ヨン) (Muse)	プ(プブ、プブブ、プブブブ) (Muse)
電話 電話特性に切り替わります(オートマチックホン)	電話(デンワ)、携帯電話(ケイ タイデンワ) (Muse iQ)	タタタタン (Muse iQ)
	※ビーブ音と共通 (Muse)	ピロリロリ (Muse)
ボリューム最大	※ビーブ音と共通	ピッピッピッピッピッ(5回) (Muse iQ スキーム1, Muse) ピッピッピッピッピッ、ブッ (Muse iQ スキーム2)
ボリューム上げる(ステップ)	※ビーブ音と共通	ピッ (Muse iQ スキーム1, Muse) ピッピッピッピッ(4回) (Muse iQ スキーム2)
電源入時のボリューム位置(ホーム)	※ビーブ音と共通	ピッピッピッ(3回)
ボリューム下げる(ステップ)	※ビーブ音と共通	ピッ (Muse iQ スキーム1, Muse) ピッピッ(2回) (Muse iQ スキーム2)
ボリューム最小	※ビーブ音と共通	ピー (Muse iQ スキーム1, Muse) ピッ、ブッ (Muse iQ スキーム2)
T2起動 T2リモートまたはT2オンデマンドを開始します	※ビーブ音と共通	ポピー ポピー
ミュート	※ビーブ音と共通	ポロロロン (Muse iQ) ピーポーピーポー (Muse)
耳鳴治療音のVCお知らせ音	※ビーブ音と共通	ボリュームと同じ音

※ Muse iQ プッシュボタン式では、音量調整のお知らせ音を二通り(スキーム1かスキーム2のどちらか)に設定できます。

13. おかしいなと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなど、おかしいなと思ったら、修理に出す前に以下の内容をご確認下さい。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。
	●レシーバー孔の目詰まり	●レシーバー孔を掃除してください。 ●ホワイトワックスガードを使用している場合は、交換してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	●補聴器が正しく装用されていない	●取扱説明書の「5. 補聴器を装用するには」をご覧ください、正しく装用してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
音がとぎれる 雑音がする	●電池の消耗	●電池を交換してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
音が小さい	●電池の消耗	●電池を交換してください。
	○レシーバー孔の目詰まり	○レシーバー孔を掃除してください。 ○ホワイトワックスガードを使用している場合は、交換してください。
	●マイク開口部の目詰まり	●マイク開口部を掃除してください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
	●電池の極性が逆	●本取扱説明書の「4. 電池の交換」をご覧ください、正しい向きに入れてください。
	○補聴器内に異物	○販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ◆ 電池のフタを閉める際に、力を入れすぎると破損の原因になります。閉まりにくいと感じたら、電池の向きや補聴器の中に異物が入っていないか確認してみてください。異物が入っている場合、無理に取り出そうとすると、内部が破損する原因になります。このような場合には、販売店にお問い合わせください。

14. 販売店様へ

AP仕様の補聴器等で132dB SPLを超える音圧レベルでフィッティングする場合、
残存聴力を害する危険性がある為、ご注意ください。

15. 表示項目等

医薬品医療機器等法第63条の規定による表示

製造販売業者名: スターキージャパン株式会社

住所: 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23

一般的名称: 耳あな型補聴器

販売名: スターキー耳あな型1

区別: 管理医療機器

製造番号: 製品本体

認証番号: 228ADBZX00029000

保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。
その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただきますようお願いいたします。
また、保証期間経過後の修理についても、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、
無くさないよう大切に保管いただきますようお願い致します。

<メモ>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<メモ>

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

<メモ>

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....



スターキージャパン株式会社

 **0120-045-190**

第2種医療機器製造販売業許可番号:14B2X00027

登録番号:14BZ000426

医療機器認証番号

スターキー耳あな型1:228ADBZX00029000

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23

BKLT0061-04-JJ-JP JPYBK-061



MD042991/0013485